

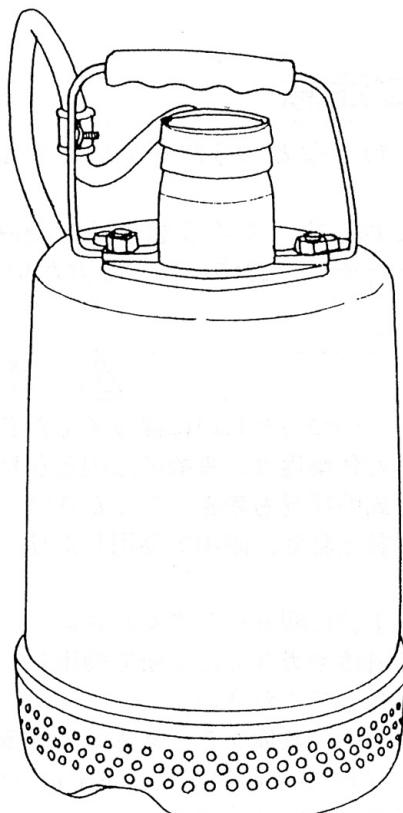
# RYOBI<sup>®</sup>

## 水中ポンプ。

RS-251<sub>(60Hz)</sub> · RS-500<sub>(60Hz)</sub>

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。  
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



### もくじ

・ 安全上のご注意	1
・ 各部のなまえ	5
・ 仕様	5
・ 付属品	5
・ お使いになる前に	6
・ 使用方法	6
・ 保守と点検	8
・ 修理を依頼する前に	9

このたびは、リヨービ水中ポンプをお買上げいただきありがとうございます。  
安全に能率よくお使いいただきため、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。  
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく、安全にご使用くださるようお願ひいたします。

## 「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部に表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。  
なお、**△注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。  
いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。  
**△警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。  
**△注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容のご注意。

## 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守ってください。
- 使用前に、これらすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **△ 警 告**

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - 散らかった作業場は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - 一般に電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - 機械を使用中、身体をアースさせているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠など)
4. 子供を近づけないでください。
  - 作業者以外、機械やコードに触れさせないでください。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

## 警 告

6. 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、機械の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った機械を使用してください。

- 小型の機械やアタッチメントは、大型の機械で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- 作業に合わせた服装を着用してください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。

10. コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って機械を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

11. 加工する物、または機械をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するときは、クランプや万力などを利用してください。
- 手で保持するより安全で、両手で機械を使用できます。
- 機械によっては、機械本体を移動しないようロープ等を使って固定してください。

12. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

13. 機械は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ゴミなどは、取り除きいつも効率よく運転出来るようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 接続箇所は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリース、水などがつかないようにしてください。

14. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品等を交換する場合。
- その他危険が予測される場合。

15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。

16. 不意な始動は避けてください。

- 電源をつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

## 警 告

- プラグを電源にさし込む前に、機械の置かれる状況も考慮してください。
- 17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - 機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。
- 19. 損傷した部品がないか点検してください。
  - 部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。  
不具合がある場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
  - 基本的にスイッチで始動および停止の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- 20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - 取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
- 21. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
  - 本製品は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。  
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

### 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。

必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

### ●水中ポンプご使用に際して

先に機械、工具としての共通の注意事項を述べましたが、水中ポンプをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

## 警 告

1. 絶対にぬれた手で電源プラグには触れないでください。
  - 感電事故の原因になります。
2. 修理技術者以外の人は、分解したり修理や改造をしないでください。
  - 異常動作をしてけがをしたり、感電・火災などの原因となります。
3. 専用の漏電しゃ断器を設置してください。(漏電しゃ断器付を除く)
  - 漏電しゃ断器は、使用前に動作確認をしてください。  
漏電しゃ断器が故障のまま使用すると漏電のとき作動せず、感電の原因になります。

## ⚠ 警 告

また、点検等は、漏電しや断器の取扱説明書に従ってください。

万一、漏電したときに感電する恐れがあります。

4. 人や動物が入っているところ（水中）でポンプを運転しないでください。

- 感電事故の原因になります。

5. アース（接地）接続を必ず行なってください。

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、および電話のアース線には接続しないでください。  
(資格を持った電気工事者による第三種接地工事が必要です。)

アース接続が不完全な場合、感電事故の原因となります。

6. 電気プラグの差し込み刃の周囲にはこりが付着していないか、定期的に点検してください。また、接続の際は刃の根元まで確実に差し込んでください。

- ほこりが付着したままであつたり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

7. 掃除や点検をするときは、電源プラグを必ず抜いてください。

- 感電したり、けがの原因になります。

8. 動かなくなったり異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買上げの販売店、またはリヨービ販売営業所に点検、修理をお申し付けください。

- 感電や漏電、ショートなどによる火災の恐れがあります。

## ⚠ 注 意

1. 電源コードを傷つけないでください。

- 加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを乗せたり、はさみ込んだりしないでください。

• 電源コードで水中ポンプを吊り下げないでください。

また、鋭くとがった角などにあてないでください。

電源コードが破損し、感電や火災、故障の原因になります。

2. 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないでください。

- 必ずプラグ部を持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードが傷つき感電、火災の原因になったり、抜けたときの反動で思わぬけがの原因になることがあります。

3. 一般的に40°C以上のお湯、泥水、海水や、引火性のあるガソリン、灯油、油など、各種溶剤、化学薬品には使用できません。

- ポンプ故障の原因になるだけでなく、火災や事故の原因になります。

4. ポンプの扱いは慎重に行なってください。

- たたいたり、落としたり乱暴に扱ったり、火気に近づけると樹脂部の破損や変形から、感電や火災、故障の原因になります。

5. 電源は、専用のコンセントを使用してください。

万一延長コードを使用されるとときは、屋外使用に見合った専用のキャブタイヤケーブルまたは、キャブタイヤコードを使用してください。さらに接続プラグ（コンセント）部は、絶対に水に濡れない位置としてください。

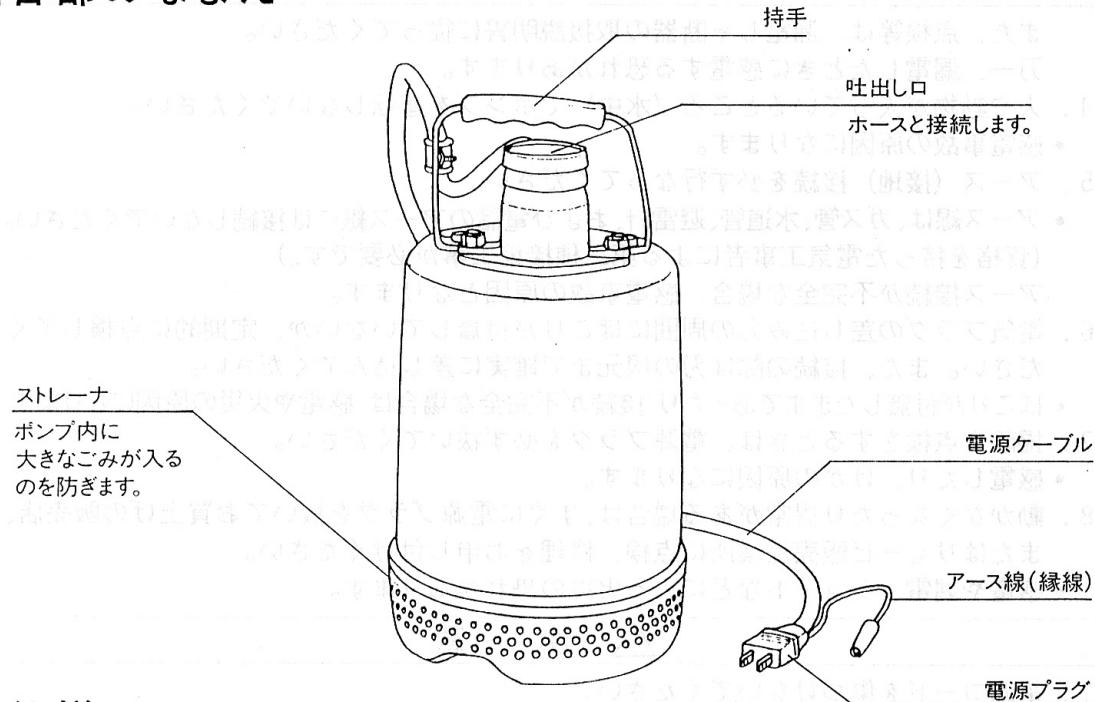
6. 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、電源を切り、ポンプを水中から出してください。

- 絶縁劣化による漏電、火災の原因になります。

7. 空運転をしないでください。

- 過熱から故障、感電や火災の原因になることがあります。

## ■各部のなまえ



## ■仕様

モ デ ル	RS-251(60Hz)	RS-500(60Hz)
ポンプ	全揚程 (Total Head): 6m	8.5m
	吐出し量 (Output Volume): 110 ℥ / min.	120 ℥ / min.
	口径 (Diameter): 40mm	50mm
電 源 (Power)		単相100V・60Hz
定 格 出 力 (Rated Output Power)	250W	500W
定 格 消 費 電 力 (Rated Power Consumption)	400W	630W
定 格 電 流 (Rated Current)	4.6A	6.3A
コ ー ド 長 さ (Cord Length)	5m	
機 体 尺 法 (Body Dimensions)	$\phi 189 \times$ 高さ342mm	
重 量 (Weight)	9.4kg	

\*重量には電源ケーブルを含んでいません。

## ■付属品



## ■ 使いになる前に

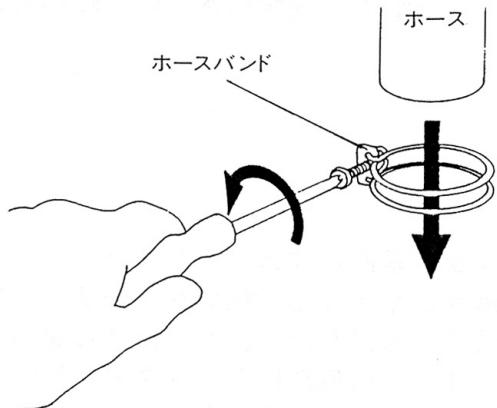
### [お願い]

- 使用水温は、0~40℃の範囲です。  
凍結の恐れがあるところや、40℃を越える水中での使用は、故障や動作不良の原因になります。
- 土砂水の土砂濃度は、1%以下(容積比)としてください。
- 水以外の液体には、使用しないでください。
- ポンプを空気中で運転しないでください。  
故障の原因になります。
- ゴム部分には、有機溶剤(シール剤、接着剤)がつかないようにしてください。
- 起動回数は、1時間に6回以内としてください。  
保護装置が作動し、ポンプが停止することがあります。
- 使用される地域の電源、周波数がポンプに合っていることを確認してください。
- 破損箇所やネジなどのゆるみがないか、確認してください。
- 使用前に、電源に接続し、ポンプに異常がないか、テスト運転して確認してください。  
(テスト運転は5秒以内にしてください。)
- ポンプの回転方向は、上から見て右回転(時計の針の回転方向)です。  
水中に入れ、電源を接続したときに反動で左方向回転に振られることがあります。

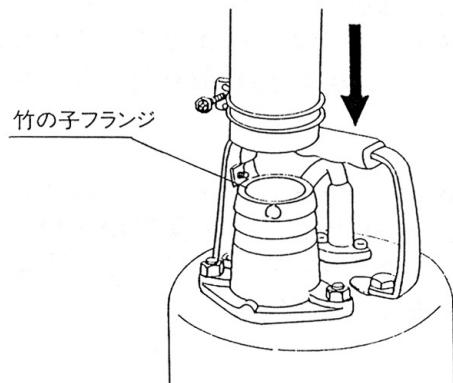
## ■ 使用方法

### ● ホースの取付け

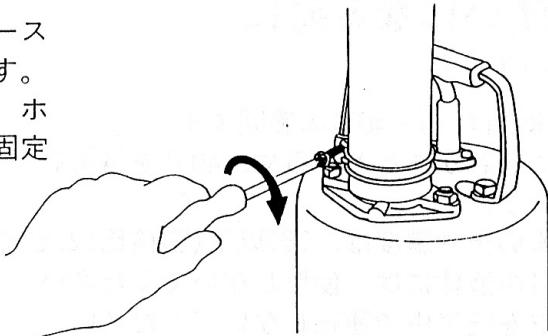
- ポンプの吐出ロに合わせた太さのホースをあらかじめ用意してください。
- 付属のホースバンドをホースに差し込みます。  
ホースバンドの内径とホースの外径(太さ)が合っていないときは、ホースバンドのネジをゆるめ、ホースバンドの内径を大きくしてから、通します。



- ホースバンドを通したホースを、水中ポンプの竹の子フランジに差し込んでください。  
ホースを竹の子フランジの根元までしっかりと差し込んでください。  
差し込みが不十分ですと、運転中にホースが抜ける場合があります。



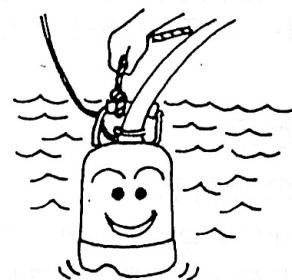
- 竹の子部分に差し込んだ位置まで、ホースに通してあるホースバンドを降ろします。ホースが竹の子部分から抜けないよう、ホースバンドのネジを締付けてホースを固定してください。



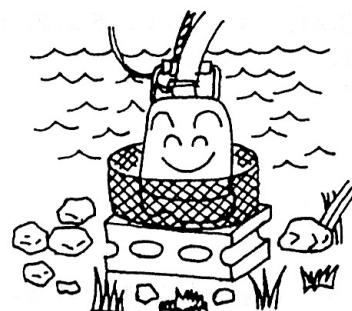
### **⚠ 警 告**

- 人が入っている水中でポンプを運転しないでください。  
感電の原因になります。
- 電源コードを持って、ポンプを吊り下げたり、移動しないでください。

- ポンプを水中に沈めてください。
- ポンプの持手にロープを結び付け、ロープを持って静かに(ゆっくりと)水中に入れてください。
- ポンプ全体を、完全に水中に沈めてください。

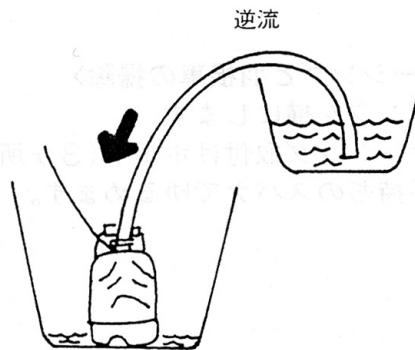


- ポンプを垂直に沈めてください。
- 水底が泥や砂などで軟弱な場合は、ポンプが沈下、埋没したり、倒れたりしないよう、ポンプの底部にブロック等を敷いてポンプを据え付けてください。
- 大きな固体物や藻、ゴミなどが多いときは、ストレーナの目詰まり防止のため、金網などで「ごみよけ」を取り付けてください。

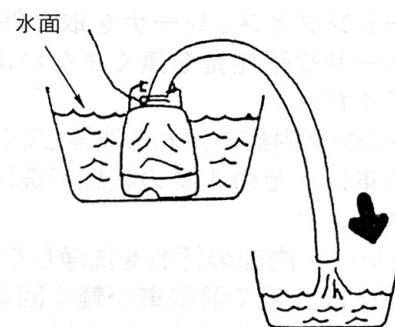


- ホースを保持、固定してください。
- ポンプに吐出し側の重量がかからないように、ホースを吊り下げたり、固定したりして支えてください。

- ホース先端の位置に注意してください。
- 吐出し側のホース先端は、水中に入らないように固定してください。  
ホースの先端が水中に入っていると、ポンプを停止したときにサイホンの原理で、水が逆流します。



また、ポンプを入れている位置よりホースの吐出し側の先端が低いと、ポンプを停止した後もサイホンの作用で水が流出します。



- アース線は、必ず接続してください。
- ガス管、水道管、避雷針や電話のアース線には、絶対に接続しないでください。  
(電気工事業者による第3種接地工事が必要です。)
- 準備ができたら、電源プラグを電源コンセントに差し込むか、電源を入れて運転をしてください。

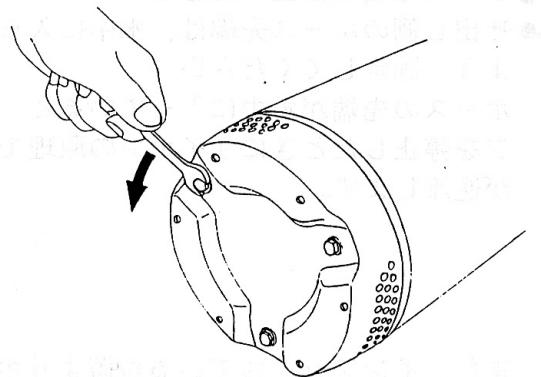
## ■ 保守と点検

### ⚠ 警 告

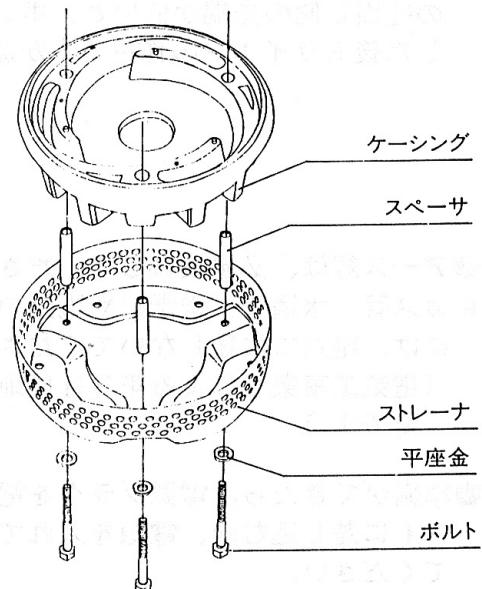
- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>掃除や点検をするときは、必ず電源プラグを抜くか、電源を切ってください。<br/>感電や、けがの原因になります。</li> </ul> |
|---|
- 使用後は、ストレーナに付着したゴミや本体の汚れを取り除き、外側からネジのゆるみや異常がないことを点検してください。
  - ケーシング内や羽根車につまったごみ等を取り除き、きれいに洗浄してください。

### 〈ケーシングと羽根車の掃除〉

- ・ポンプを横にします。
- ・ケーシング取付けボルト(3ヶ所)を、お手持ちのスパナでゆるめます。



- ・ケーシングとストレーナを取り外します。スペーサや平座金を無くさないよう注意してください。
- ・ケーシング内部の汚れを洗浄してください。
- ・羽根車は、そのままの状態で洗浄してください。
- ・ストレーナ内部の汚れを洗浄してください。
- ・洗浄後は、手で羽根車が軽く回ることを確認のうえ、分解時とは、逆の手順で組立てください。
- \*スペーサ(3本)は、必ず取り付けてください。



- 3,000時間を目安にお買上げの販売店にて絶縁抵抗、メカニカルシールの点検をご依頼ください。(有償交換)

## ■修理を依頼する前に

### ⚠ 警 告

- ・専門の修理技術者以外の人は、分解したり修理や改造をしないでください。異常動作をしてけがをしたり、感電や火災等の原因になります。
- ・漏電しや断器が作動した場合やその他の異常時には、電源プラグを抜くか、電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。  
そのまま無理に使用すると、感電や火災の原因になります。

## [お願い]

「故障かな?」と思ったら、まず次のことをお調べください。  
それでも具合の悪いときは、電源プラグをコンセントより抜くか、電源を切り、すぐに  
お買上げの販売店にご相談してください。

販売店にご相談される時は、ポンプ銘板に記載のモデル、製造番号、お買上げ年月日と  
故障状況をお知らせください。

故障状況	故障原因	対策・処置
ポンプが回らない	・停電している	電気工事店または電力会社に連絡する
	・電圧が低い	
	・電源プラグ、電線のはずれ	確実に接続する
	・電源回路の接続不良	接続部の点検
	・羽根車にゴミがかみこみ	「保守点検」にそってゴミを取り除く
ポンプが運転中に停止する	・空気を吸い込んでいる	水位を上げる
	・水温が高い	水温を下げる
	・電圧が低下している	配線を太く、短くする
	・羽根車にゴミかみこみ	「保守点検」にそってゴミを取り除く
吐出し量が少ない	・ストレーナにゴミが付着	「保守点検」にそってゴミを取り除く
	・ホースがつまっている	ホースのつぶれを点検、曲がりを少なく
	・ポンプ内のつまり	「保守点検」にそってゴミを取り除く
	・60Hz用ポンプを50Hzで使用	銘板を確認
	・空気を吸い込んでいる	水位を上げる

## (お問い合わせ)

お問い合わせ窓口は、販売店またはリョービ販売営業所です。  
お問い合わせ窓口は、販売店またはリョービ販売営業所です。

### 販売店へお問い合わせ

販売店へお問い合わせの際には、必ずお名前と会社名を明記して下さい。  
必ずお名前と会社名を明記して下さい。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

\*改良のため、お断りなく製品仕様が変わることがあります。

発売元

**RYOBI**

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社